

研究レポート No.809 岩手県農業研究センター

オーチャードグラスの春期播種と秋の追播による植生改善技術

【1 成果概要】

- (1) オーチャードグラス（以下、OG）を4月に播種し定着した草地では、播種当年から年間乾物収量 **485kg/10a**（刈取2回）のOGが収穫できます。但し、播種後の干ばつによりOGが定着できない場合があります（表1）。
- (2) OGが定着した場合、6月中旬（牧草草丈20~30cm目安）に掃除刈りを行います。また、ハーモニーDF水和剤（以下、ハーモニー）を掃除刈り前に処理すると、雑草が枯死し裸地化した草地の一部に新たな雑草（主にイヌビエ）が侵入するため、ハーモニーによる除草は掃除刈り後、一番草刈取前に処理することにより、雑草発生量を抑えることができます（表2）。
- (3) OGが定着しなかった場合、雑草を掃除刈り後、9月にディスクハローで土壌表層を攪拌しOGを追播することにより、草地の植生改善（牧草割合60%以上）が可能です（図1、図2）。

表1 春播種草地の収量性および牧草被度と降水量(4月)の推移

播種年月日	播種約2ヶ月後の 牧草被度(%)	年間乾物収量(kg/10a)			4月の降水量(mm)						
		1年目	2年目	3年目	1~5日	6~10日	11~15日	16~20日	21~25日	26~30日	
2013.4.9	70	485	832	1129	4.5	28.5	8.0	32.0	34.0	15.5	
2014.4.2	2	-	-	-	39.5	7.0	0	0	0	8.5	
2015.3.30	10	-	-	-	43.0	6.0	18.5	36.5	0	0	
-	-	-	-	-	平年値	15.6	19.7	23.0	24.7	21.9	20.3

*牧草被度は草地冠部被度のうちOGが占める割合を示し、目標値は60%以上（「草地診断の手引き」1996.3月発行より）
 *年間乾物収量はOGの乾物収量であり、播種当年は刈取2回(7/24、9/5)、2年目以降は3回/年の刈取、また、2014年および2015年に播種した草地は干ばつによりOGが定着せず収量データなし
 *降水量の観測地点は滝沢市(畜産研究所)

表2 掃除刈り前後の除草剤処理による雑草発生量の違い(生草重量kg/10a)

区分	ハーモニー処理日	イソギンギク	イヌビエ	その他雑草	計
前処理区	6/5	0	1434	990	2424
後処理区	7/1	69	206	412	687

*播種年月日 2014.4.2
 *掃除刈り実施年月日 2014.6.11
 *調査年月日 2014.7.24
 *ハーモニー1g/10a 処理

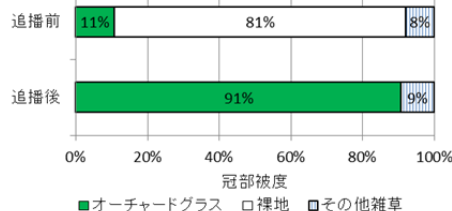


図1 表層攪拌(ディスクハロー)・追播による植生の改善

*掃除刈り実施年月日 2014.9.16
 *播種年月日 2014.9.29
 *調査年月日 上 2013.7.1、下 2015.9.2

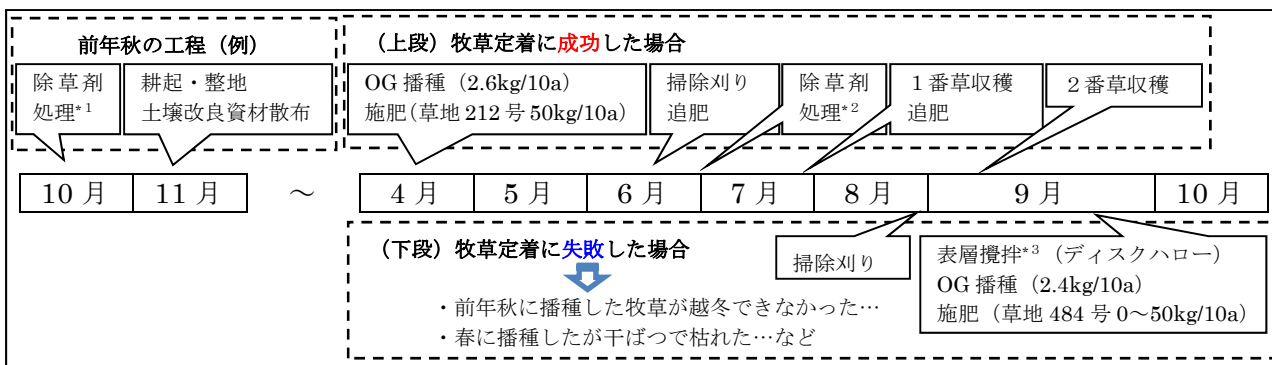


図2 オーチャードグラスの春期播種と追播による植生改善技術の工程(例)

*1: ラウンドアップマックスロード 500ml/10a、*2: ハーモニー1g/10a、*3: 播種適期(遅くとも9月下旬)に表層攪拌後、速やかに播種と鎮圧を実施

【2 留意事項】

- (1) ハーモニーは雑草の葉が展葉してから採草21日前までに散布してください。
- (2) 造成・更新対象の圃場は前年秋に耕起することから、雪解けによる土壌の流亡を防ぐため急傾斜地を避けて下さい。